

## 初級システムアドミニストレータ 受講生アドバイス

(直前でできること)

4月18日(日)の試験本番まで、残りわずかとなりました。  
今回は「直前でできること」と題して、試験対策として本番前に必ず準備・確認しておいていただきたい事項のアドバイス、ならびにポイントのおさらいをお届けします。

残り2週間でやって欲しい重点項目

### 『直前で出来ること～ポイントの絞り込み方』

本試験日が直前にせまってきました。

皆さん、いかがお過ごしですか？

この時期は丁度、お忙しい人もいるかもしれませんね。

けれど、それはあらかじめわかっていたことですからスケジュール管理は万全ですよ？

本試験に向けての最終調整の時間はしっかりキープしてください。

ラストパートのこの時間をしっかりキープし、且つ仕事もきちんこなした人はその事実が本試験に対する自信につながります。

そうそう、言い忘れました。この時間をキープし且つ仕事をこなせば、後は眠る時間しか残りません。

しっかり眠ることも試験対策としては重要です。

受験申込みから今日まで、自分の立てたスケジュールを消化出来た人は次のページへ進んで下さい。

**まさかとは思いますが、何もやっていない人、もしいらっしゃいましたら試しに5ページに進んで下さい。**そして、やってみようかという気が起きたなら、即実行に移してください。余裕の合格は無理ですが、ぎりぎり合格の望みはまだ残っています。

### <午後問題対策の効果的な学習法は？>

以前お話したかもしれませんが、午前問題と午後問題の違いは一言で言ってしまうと、問題文が長いかわりか1問完結か複数設問ありかという事になります。

しかし、これは見た目の違いです。

午前問題と午後問題の出題範囲は、実は両方とも同じなのです。

午後問題は、基礎知識を実際の仕事に仮定したテーマとしてとらえ、実務能力・応用能

力を評価しています（それゆえに長文読解となっているわけです）。

但し、出題される問題は午前とは違い、実践的で且つ深い内容になっています。ですから、テクニックを知った上で問題の取り組まないと、時間切れになってしまう可能性があります。そのテクニックとは過去に出題された問題のパターンを読むことです。

午後問題を解くにあたっては、専門知識を身につけることはもちろんですが、問題文を図や表と関連付けながら素早く正確に読み取り、根気よく解答を出していく能力を身に付けておく必要があります。これは反復演習しかありませんから、まだ演習が足りないと思っている人は、今から試験直前までくり返し実施することをお勧めします。

では、03秋の問題を具体的に確認してみましょう。

問1 DVDレンタル業務システムの把握。難易度（普通）

業務システムをデータベース構造、E-R図、DFDから把握し、関連処理をSQLで記述する内容であり、これらの知識が必須ではありますが、問題そのものは比較的解きやすい問題です。

問2 表計算ソフトによる売上実績の分析。難易度（やや易）

売上実績を分析する問題で、ワークシートの内容と各エリアの関係をつかむことが必要です。

問3 在庫管理システムの構築。難易度（やや難）

SQL文を使って在庫管理に必要な処理を行う問題です。在庫管理やABC分析の知識があると取り組みやすい問題です。SQL文を完成させる問題なので、SQLの知識は不可欠です。

問4 書籍管理システムの機能追加。難易度（普通）

作成済みのSELECT文を正しくトレースでき、間違いを発見できる能力が必要です。

問5 ローン審査業務の改善。（普通）

ローン審査業務のコストを削減する問題です。専門知識は必要ありませんが、変更条件を見落とさないよう、計算を間違えないよう、注意と根気が必要です。

問6 システム受入れテスト。（やや易）

テストデータからテスト条件を推測しますが、請求の条件をよく理解してテストデータを考察すればテストの経験がなくても解ける問題です。

## 問7 施設運営に必要な人員配置計画。難易度（普通）

問題文を丁寧に読み、グラフや表のデータの意味を正確につかむことができれば、迷わず解答できます。

いかがですか？ 直近の午後問題を分析した結果では、データベース関連が3問。業務改善やデータ分析を行う問題、表計算、などは、過去問題を確実に解いて練習していけば、十分な対策ができるということがわかったと思います。また、時流に乗って今後はセキュリティ関連の問題が出題される可能性があります。午前問題対策と一緒に幅広く、そしてより深く学習することが必要です。

全体的にみて、午後問題を確実にクリアするには、問題点の把握力や分析力が必須のようです。図表から隠れた問題点や傾向を読み取る訓練も日頃から実施しておきましょう。今からでも決して遅くはありません。

### < 午後問題対策を効果的に体得する学習法はないの？ >

試験対策という観点から、無理やり解き方を覚えようとするより、自分が簡単な業務システムを設計し、運用していることをイメージしてみてもいいでしょうか？

もちろん試験を受ける方々全員がシステム絡みの仕事をされているとは限りませんが、イメージがわからないのが事実かもしれません。しかし、将来的にシステムアドミニストレーターを目指すのなら、業務をいかに効率的かつ、合理的にするため、システムを導入し、それを検証できるかが、シスアドにおける真の能力であると思います。自分で設計した、EUCシステムが正常に動くためには、どこに問題点があり、どのような工夫をして改善しなければならないのか。そう、もうお気づきですね、それが午後問題の解答そのものです。

### < では、午前問題対策の効果的な学習法は？ >

平成13年春以降の新制度では、初級シスアドの午前問題は、初級シスアド以外の試験種別から過去問題がたくさん出題されています。したがって、できるだけ多くの初級シスアド試験の過去問題を解くとともに、IT共通知識の分野は、他の種目の過去問題にまで範囲を広げて解き、十分に復習しておくことをお勧めします。

過去に出題されたテーマは、より広く、より深い理解が得られるよう反復学習してください。また、ネットワーク関連で今回は目新しい内容の出題はありませんでしたが、技術変化の大きい分野なので日頃から意識的に専門誌や新聞に日々目を通すよう、新しい情報を得るようにしましょう。

セキュリティ関連技術については、午後問題に通じるものもあり、今後も業務に役立つ

重要なポイントなので、しっかりと内容を整理して覚えるようにしてください。

### <午前問題対策はポイントを絞って、まずは覚えること！>

午前問題における、過去問題出題率はなんと60%です。単純に考えれば、過去問さえ押えておけば、半分の問題はクリアできるということなのです。

では、03秋の問題を具体的に確認してみましょう

#### 1. 業務と業務改善

この知識分野からは、14問の出題がありました。

#### 2. 情報システム構築支援

この知識分野からは、19問の出題がありました。

#### 3. 情報システム運用と整備

この知識分野からは、24問の出題がありました。

#### 4. エンドユーザコンピューティング

この知識分野からは、21問の出題がありました。

##### (1) パーソナルコンピュータ

この分野からは7問の出題がありました。

##### (2) オフィス用ソフトウェア

この分野からは7問出題されました。

##### (3) ネットワーク

この分野からは5問の出題がありました。

##### (4) マルチメディアの活用

この分野からは2問の出題がありました

#### 5. 文書化と発表技術

この分野での出題は前回と同様に2問だけでした。

過去2回(03春と03秋)の分野別出題頻度を表にしてみました。どの分野が重点学習ポイントなのかが見えてきたと思います。過去に出題される問題が再度出題されるということは、その問題が何らかの意味をもっているに他なりません。出題頻度が高い分野の過去問題を時間がゆるす限り、数多く解き、その問題だけは、どのような形で出題されても絶対に落さないようにしてください。

分野	2003年(春期)	2003年(秋期)
業務と業務改善	11問	14問
情報システム構築支援	18問	19問
情報システム運用と整備	20問	24問
エンドユーザコンピューティング	30問	21問
文書化と発表技術	1問	2問

### < 試験対策の仕上げにしなければならないことは？ >

午前問題は過去問題をおさえた上で、最新の傾向や業界で話題のトレンドを付け加えて覚えること。午後問題は長文であることにごまかされないように、覚えた午前の問題を今一度深く考えて違う視点で見してみる。基礎知識を本当に理解していれば、問題文を読まずに設問を読んだだけで、ある程度答えの推測だって可能です。

午前/午後対策のポイント：

基礎知識をしっかり理解していれば、午後問題は午前問題に変身する。

基礎知識を制する者は全てを制す。丸暗記ではなく確かな理解を！

### < 何も勉強をしていません！どうしたらいいですか？ >

本来なら、「知りません。」と言うところですが、いろいろ事情もおありでしょう。

これは最後の手段です。

あなたのやる気がそのまま得点になると思って下さい。

本試験日まであと仮に2週間とすれば、

月曜～金曜	2 H / 日	10 H
土曜と日曜	8 H / 日	16 H
		26 H / W

2週間では52 H

最低でもこれだけの学習時間をキープ  
しなさい！

もし、

月曜～金曜	2 H / 日	10 H
土曜と日曜	10 H / 日	20 H

30 H / W 2週間で60 H

2ヶ月前に学習を始めた人と同じ時間がキープ出来ます。

この時間がキープ出来るなら、問題集を用意して下さい。  
午前と午後の過去問題が載っていて、且つ解説が詳しく・事細かに書いてあるものが多いでしょう。

問題集を用意したら

午前・午後とも問題を解かずに解説をひたすら読んで下さい。

1度ではダメです。繰り返し繰り返し何度も読んで下さい。

そのうち、問題が推測出来るようになります。  
もしくは問題を解きたくなります。  
そうしたら、問題のページを開いて問題を解いて下さい。

ただひたすらこれを繰り返す！

これが何もやっていないあなたに出来る唯一のことです。

その結果が、単なる知識のスリコミになるか、理解に基づく認識となるかは、あなたがどれだけの基礎力をもっているかで変わってきます。頑張ってください。

**ポイント：**

解説をひたすら読み、自分に覚えこませる

### < 本試験日までにはやっておくこと >

1. 過去の試験問題を通して解き、時間配分に慣れておく。
2. 受験票の記載事項に間違いがないか確認する。
3. 受験票に写真を貼る（写真が貼っていない為に試験が受けられなかった受験生もいます）。
4. 試験会場までの交通手段を確認する。  
出来れば、自分が実際に移動する時間帯に会場まで行ってみてください（当然日曜日を使って）。  
試験当日はその3～5倍の混雑が予想されます。

### <本試験前日にやっておくこと>

1. 翌日の昼食を準備しておく（当日、会場付近の食べ物は売り切れと思った方が無難です）。
2. 筆記用具を2セット用意する。
3. しっかり食べて早めに寝る。

問題集等は持っていかないほうが良いでしょう。

なければ不安という人は持っていても構いませんが、極力見ないようにして下さい。

見たら、その部分にひきずられます。

特に午前終了後、解けなかった問題や気になったところを確認すると、

それが無意識に午後の問題を解くベースとなってしまうこともあるので要注意です。午後を終了して、なんでこの問題がとけなかったのだろう？この問題は判っていたのに・・・と

いう経験のある人は、これにひっかかってしまったのではありませんか？

### <本試験日にすること>

席に着いたら、この三ヶ月間を振り返って下さい。

これだけやったのです。

大丈夫です。

あなたが受からなければ他の誰も受かるはずがありません。

心を無にして、問題用紙を開いてください。

試験当日まであとひと頑張り、最後の追い込みを。そして試験当日は途中退場せず、試験時間満了まで全力を尽くしましょう。

**あなたなら必ず合格できます！ 合格を心から成功を祈っています！！**